

第7回運転責任者運営委員会 議事要旨

1 日 時 平成22年2月19日(金) 14時30分 ~ 17時10分

2 場 所 日本原子力技術協会 特別会議室

3 議 題

- (1) 会議定足数の確認、議事次第と配布資料の確認
- (2) 代理出席者の承認
- (3) 前回議事録の確認
- (4) 運転責任者判定業務の実施状況について
- (5) 平成22年度判定計画について
- (6) 筆記試験問題に関する重要度・難易度付加結果及び対応について
- (7) 口答(筆記)試験委員・講習講師の委嘱について
- (8) 運営委員会でご指摘を受けた課題の対応状況について
- (9) その他

4 出席者：(敬称略、順不同)

(委員) 北村委員長、島津委員、鈴木敏雄委員、藤原委員、月川委員、伊東委員
(事務局 原技協) 成瀬理事、青GL、阿部、浦野

5 議 事

(1) 会議定足数の確認、議事次第と配布資料の確認

会議定足数(委員の2/3以上出席)を満足しており、運営委員会が成立することを確認した。議事次第と資料の確認を実施した。

(2) 代理出席者の承認

代理出席者なしのため、省略した。

(3) 前回議事録の確認

前回議事録が了承された。

(4) 運転責任者判定制度の実施状況について

事務局より、平成21年度の業務実施状況について第3回講習・口答(筆記)試験までの実績を説明した。今後、第4回講習・口答(筆記)試験の実績も含め21年度業務実施状況として報告する旨を説明し、以下の意見があった。

[主な意見等]

- ① 筆記試験委員及び講習講師の評価要領について、口答試験委員の評価要領と同様に、より具体的な評価内容を検討すること。
- ② 運転員の統督に関する知識の講習は、労働安全や航空産業に従事する方々により実施されている。講習内容の理解を一層深めるため、事務局が解説する等の方策を検討する。
- ③ 21年度の実施状況を踏まえ、運転責任者の知識を確認する手段としての口答試験の進め方の改善について検討すること。
- ④ 運転責任者に必要な力量を有している人を不合格とする、あるいはその逆となっていないことを検証するための方策について、今後の課題として検討する。

- (5) 平成22年度判定計画について
事務局より、平成22年度判定計画について説明し、確認された。
- (6) 筆記試験問題に関する重要度・難易度付加結果及び対応について
事務局より、重要度・難易度付加結果及び今後の対応方針について説明し、以下の意見があった。
[主な意見等]
①重要度・難易度の設定は大切であり、評価者によりバラつきが発生しないようさらに基準を明確にしてゆくこと。
②難易度の認識は、受験者が全員間違えた問題は“難”、全員正解した問題は“易”といった単純なものではない。出題して公表すれば、それ以降全員が正解する問題でも難しいものは、“難”に分類するものである。
難易度の設定は、試験問題作成WGにおける筆記試験問題内容の審議の際、運転責任者としてのWG委員の経験から一部見直しを行っている。
- (7) 口答(筆記)試験委員・講習講師の委嘱について
事務局より、平成21年度に実施した追加委嘱状況について説明した。今回の委嘱により電力毎の委嘱者数のバラつきが減少するとともに、十分な委員・講師の人数が確保できた。
- (8) 運営委員会でご指摘を受けた課題の対応状況について
第6回委員会以降の対応状況について事務局より説明し、以下の意見があった。
[主な意見等]
①講習レポートの写しを一部の電力に送付する運用について、レポート課題を公表することで公平性は確保されることを説明すること。
- (9) その他
①運営委員の任期はH22.3.31で満了になるが、各委員に22年度から3年間の委員再委嘱をお願いし、了解された。

以 上